

部長会議 報告書

平成 31 年 1 月 4 日(金)

3 階第 2 会議室 9:30~10:30

1. 市長・副市長訓示

(市長)

- ・総合計画後期基本計画の策定（都市マスタープラン含む）にあたり、総合計画策定本部会、7 つの部会およびワーキンググループで進めていくことになるが、昨年度実施した市民満足度調査の結果をそれぞれの所管する事業へ反映し、また後期基本計画の策定に活用していただきたい。
- ・桑名駅の自由通路整備事業では、今後、基礎工事を終え、本年初旬からは建物の鉄骨（上屋）工事に着手できることとなり、新しい駅の姿が徐々に目に見える形でお示しできることになる。また、自由通路整備と合わせ、桑名駅周辺地区の交通機能強化やにぎわい創出を図っていくため、今後も、全庁的な取組みとして各部局が連携・協力し、駅周辺事業の進捗を図っていただきたい。
- ・今年、伊勢湾台風から 60 年の節目の年にあたる。現在、業務継続計画（BCP）を策定中であるが、引き続き、受援計画の策定に取り組んでいくことになる。本市で完結できることは、しっかりと対応し、また、本市だけでは対応できない業務については、外部の応援を受けられるよう調整し、内部・外部の両輪でしっかりと防災力強化を図っていききたい。
- ・自治体戦略 2040 構想における新たな自治体行政の基本的な考え方を理解し、その先 10 年後 20 年後をみこして、本市のあるべき姿をイメージし、業務に取り組んでいただきたい。その中で、AI・PRA は外部に業務をやってもらう手法の一つと捉えて欲しい。サービスの提供、業務の実施方法を変えることで、職員は、本来、取り組むべき業務に励んでいただきたい。
- ・社会は、スピードを上げて進化、変化している。そのスピードについていけるよう自己研鑽に励んでいただきたい。
- ・来庁者や職員間におけるあいさつ等実施し、円滑なコミュニケーションを図り、風通しの良い職場環境を整えていただきたい。
- ・今後は、部や課の枠組みを超えて連携して取り組まなければ達成できない施策や課題が増えてくるので、横断的な連携のもと、様々な角度から十分な検討を重ねスピード感を持って確実に事業が進められるよう意欲を持って職務に精励してほしい。
- ・心と身体が健康でなければ、良い仕事はできないことから、心と体の健康に十分留意するよう心掛けワーク・ライフ・バランスを保ちながら、業務にあたっていただくようお願いしたい。

(伊藤副市長)

- ・社会は、急激に変わっていかうとしているので、常にアンテナを高くして対応できるように努めていただきました。
- ・業務のあり方・見直しについて、部長、また課長自らが率先して取り組んでいただきたい。それは、もちろん財政的な面もあるが、仕事を減らす、もしくは合理的に仕事をする事で、職員が楽しく働きやすい環境づくりに努めていただきたい。

(水谷副市長)

- ・伊勢湾台風から60年の節目の年であるが、ぜひとも体験者の「生の声」を聞く機会を持っていただきたい。自身の身近に、現実を感じることで、より防災意識の向上に繋がる。

※その後、各特別職、部長から新年の抱負が述べられた。

2. その他

(1) 昇給通知書の廃止について(通知) (市長公室)

⇒ 資料に基づいて説明 (市長公室長)